

科目	経済学概論	担当	赤岡 功・傍嶋則之・高崎義幸	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

私たちは、働いて財やサービスを生産し、収入を得、その収入で財・サービスを購入・消費し、一人あるいは家族と暮らし、素敵な文化をつくり楽しみ、豊かで健康で楽しい意義のある生活を送ろうとしている。現代では、私たちの多くは、かつては恵まれた少数者しか享受できなかった豊かな生活が可能になっている。しかし、なお、格差が残り、その解消が課題となっている。それは、科学技術を利用した「自由競争経済とそれを踏まえた経営学」の輝かしい成果である。マルクス経済学を基礎とする国も、多くは経済競争を取り入れることにより、豊かさを追求している。そして、愛知とりわけ知多・東海市は、解決すべき問題点は残るが、自然と産業、健康・文化等の調和ある発展に大きな成果をあげている。これらの点を自由競争経済学の観点から考える。

【履修注意】

授業中に質問し、指名して回答を求める。また、クイズも行う。回答者に星城マイレჯ(Sマイレჯ:スマイレჯ)を進呈する。平生点として成績査定に算入する。授業中の私語、携帯電話、ゲーム等は禁止する。スポーツ試合などの公欠は、真にやむを得ないもの以外は認めず、厳しく判定する。

【評価方法】

2/3以上の出席と履修注意に示したことを遵守することが必須条件である。レポート課題と定期試験結果とスマイレჯポイントで評価する。

【試験について】

合格は、定期試験の得点とスマイレჯ・ポイントの合計で評定する。合格は、定期試験の得点とスマイレჯ・ポイントの合計で評定する。

【予習・復習】

予習・復習は、ノートを提出すれば、採点、コメントを記し返却する。スマレჯを付与する。

【教科書】

講義資料と参考資料を配布する。

【参考書】

参考書:伊東光晴・赤岡功編著『ビジネス経済応用』実教出版 2015.

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	イントロダクション	経済システム 計画経済と市場競争
2	日本と愛知の企業	自然・経済・文化の調和ある発展
3	市場競争	アダム・スミスと信長楽市・楽座
4	産業の発達	六次産業論
5	消費者均衡論	無差別曲線と効用最大化
6	生産者均衡論	総費用曲線、平均費用曲線、限界費用曲線
7	イノベーション論	シュンペーターと信長イノベーション
8	地域の産業と生活	東海市・知多・半田・常滑の産業と生活
9	知多の経済と生活	知多の自然と経済
10	景気循環論	金融政策、財政政策
11	マクロ経済学	ケインズ経済学
12	社会関係資本	ソーシャル・キャピタルと社会経済の効率性、ガバナンス
13	地域資源開発経済論	知多の文化と経済
14	国際貿易理論	スミス、リカード、比較生産費説
15	国際貿易 欧米日	国際交渉史
16	期末テスト	